

## はじめに

大阪歴史博物館では、館蔵資料の活用・公開をひとつの柱として、さまざまな調査研究に取り組んでいます。なかでも共同研究事業は、外部研究者の方々と交え、より広い観点から当館所蔵資料についての調査を進め、その成果を公開する目的で実施しています。

本報告書では、平成 27 年度から 29 年度にかけて実施した、共同研究「鴻池家旧蔵名物裂についての研究」の成果を報告します。当館所蔵の鴻池家旧蔵染織資料群は、大阪・今橋に本拠を構えた両替商・鴻池善右衛門家に伝来した染織資料群で、平成 7 年（1995）1 月に発生した阪神・淡路大震災をきっかけとして平成 8 年から 9 年（1996～7）にかけて寄贈された、3,300 点を超える鴻池家資料に含まれるものです。このうち、染織関連資料としては、おもに鴻池家本邸で使用されていた衣装類とその他の染織文化財が含まれていますが、本報告書においては後者の染織文化財の調査ならびに修復作業について報告いたします。本報告書が広く活用され、大阪の歴史と文化、そして生活に関する研究の発展に寄与することとなりましたら幸甚です。

末尾になりましたが、本研究の推進にあたり、貴重な資料をご寄贈いただきました鴻池家ならびにご協力を賜りました関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

平成 31 年（2019）3 月

大阪歴史博物館